

第4回 西ノ島町総合振興計画策定審議会 議事録

1. 開催概要

日 時 令和7年1月29日（水）14:00~15:30

会 場 西ノ島町役場 2階 議場

参加者

【委員】20名中16名の出席

【事務局】

所 属	職 名	氏 名	備考
西ノ島町 政策企画課	課 長	桶谷 昌史	
西ノ島町 政策企画課	係 長	木村 龍士	
西ノ島町 政策企画課	主 任	阿川 満美	

【調査委託会社】

所 属	氏 名
(株)エブリプラン	鶴見

2. 議事次第

- 1) 開会
- 2) 会長あいさつ
- 3) 議題
 - (1) 本日のテーマについて
 - (2) 前回の振り返り
 - (3) 総合振興計画（案）について
- 4) 閉会

3. 配布資料

次第

策定体制・スケジュール、本日のテーマ【資料 1】

前回の審議会の振り返り【資料 2】

総合振興計画（案）【資料 3】

成果指標一覧

4. 議事録

1) 開会

事務局より、委員の出席について、4 名の委員が欠席となり、出席者数が定足数を満たしていることを報告した。

2) 会長あいさつ

会長より挨拶を行った。内容は以下の通り。

発言者	要旨
会長	お忙しい中お集まりいただき感謝する。本日は、前回までに皆様からいただいた基本施策について意見を踏まえて、事務局より総合振興計画の案を示している。今回の審議会後にパブリックコメントを行い、次回が最後となる予定。計画も最終段階に入っており、前回ご承認いただいた基本構想と照らし合わせていただき、たくさんのご意見をいただきたい。

3) 議題

事務局より、議題（1）及び（2）について、配布資料 1 及び 2 に沿って説明を行った。質疑・意見はなかった。

続いて、事務局より、議題（3）について説明を行った。質疑・意見は以下の通り。

発言者	要旨
会長	P4 三度の集落の位置が間違っている。
事務局	正しい位置に修正する。
委員	P5 誤字「2025 年意向」→「2025 年以降」
事務局	修正する。
委員	壮大な計画となっている。事務局にはお疲れ様と言いたい。施策のページの中の★の意味は何か。
事務局	「総合戦略」に掲載している取組に★を付けている。P3 にそのことを記載しているが、各ページを見ただけでは意味がわかりにくくなっている

	ので、表記の仕方は工夫したい。
委員	P36 「学校教育に対する満足度」「ふるさと教育の授業時数」を成果指標としているが、前者は町独自でアンケート調査を行うのか。
事務局	学校で取っているものを活用したいと考えている。一方で設問の内容が変わっていくものもあるので、全体としてポジティブな評価を数値化していければと考えている。
委員	現行の総合戦略でもアンケート結果を使っているのか。
事務局	現行の総合戦略では使っていない。
委員	「ふるさと教育の授業時数」について、25 時間に設定した根拠は。また、時数を指標とするのが妥当かどうか。
事務局	時数がすべてとは考えていないが、内容まで加味して成果指標として示すのは困難であることから、客観的に把握できる指標として時数としている。また、県の基準が 20 時間であるので、そこから上積みして取り組みたいということを目指して設定したもの。
委員	学校教育のアンケートの中でどの項目を成果指標に用いるかは町が判断するのか。
事務局	設問項目が年によって変わるので、全体の平均値を取っていく予定である。
委員	具体的なイメージが湧かない。
事務局	現状値の 87.7%は、令和 5 年の学校評価アンケートの結果として公表されている、小学校 17 項目、中学校 19 項目を平均したもの。項目を選ぶことはせず、すべての項目の平均を取っている。
委員	町独自ではアンケート調査をやらないのか。
事務局	やる予定はない。似たようなアンケートが複数あるとかえってややこしくなるのではと考える。既存の調査を活用できると考える。
委員	アンケート結果のデータを学校から町へ提供するのか。
事務局	教育委員会経由で提供いただくと思う。
委員	P21 社会福祉協議会は現在、訪問介護事業を実施しているのか。また、P20 医療従事者の確保とあるが、福祉・介護人材については明記されていないが、横断的な方針の中に含まれているという理解でよいのか。
事務局	訪問介護事業は現状においても実施されている。従事者の確保は明記はしていないが、人材確保はどの分野についても課題であり、すべてに関連する施策として整理している。
委員	P42 総合戦略の位置付けについて確認したい。基本施策の中で特に取り組んでいくということなのか。
事務局	総合戦略はいわゆる人口減少対策に直結するものを載せている。1 つ目とし

	て仕事をつくる、その上で2つ目として人を呼び込む、3つ目として結婚・出産の希望を叶える、4つ目として住み続けられるまちをつくる、ということをテーマとしている。全体の計画の中から取組をピックアップして「総合戦略」としてまとめている。
委員	説明を聞いて理解した。そのことがたしかに本文にも書かれているが、もう少し読んでわかるようになっていて良い。
事務局	位置付けの説明のところでもう少しわかりやすくできるか検討したい。
委員	P31 「海業」について、取組が全然進んでいないと聞いているが、計画に書くということは前に進めるということか。
事務局	進んでいないというご指摘だが、決意表明の意味も込めて記載している。
委員	P30 「六次産業化」についても、過去から掲げているが、実績がない。実績がないものを書いていて良いのか。
事務局	根が深い問題ではある。しかし、進んでいないから書くべきでない、というものではない。水産業に関していえば、好漁場が広がっており、これを活用しない手はない。お菓子の製造にも取り組んでいる。
委員	国や県も取り組んでいる。周知が足りないのではないか。
事務局	ご意見は担当課とも共有する。
委員	P20 他の病院との連携について記載しているが、鳥取大学とも連携しているので、記載してほしい。
事務局	承知した。
副会長	計画書の本体は字が多いので、全部読むのは難しい。町民にはダイジェスト版を配ってほしい。読みやすく、わかりやすいものを。
事務局	基本構想部分を中心に、噛み砕いたダイジェスト版を作成して配布する予定。町としても作ったからには皆さんに読んでいただきたいという思いでいる。
委員	P31 社会スポーツについて記載があるが、踊りや民謡サークルなどに子どもも参加している。取組に追記してほしい。
事務局	文化サークルへの支援ということで、ご指摘の取組も含んでいるということで理解いただきたい。
会長	総合振興計画（案）について、これまで頂いた意見を踏まえて事務局で引き続き検討するというので、審議会として概ね了承ということで意見をまとめてよいか。 →了承を得た。

4) 閉会

事務局より閉会の挨拶。内容は以下の通り。

- ・今回出た意見を基に計画案を修正し、パブリックコメントに出す。その後、パブリック

コメントの結果を踏まえた最終案を次回の審議会に示す。

- ・ 次回の審議会は 2/19 に開催予定。

以上